



NIE 教育に
新聞を

4

小学1・2年生向け

てんじつき さわるえほん ぐりとぐら

なかがわり えこ おおむら ゆりこ
中川李枝子さく 大村百合子え

目が見える人も見えない人も一緒に楽しめる「点字つきさわる絵本」から、「ぐりとぐら」を紹介します。野ねずみのぐりとぐらが、森で見つけた大きな卵を使い、あるスイーツ作りに挑戦する、というお話です。絵本に触ってみると、絵の上に透明な線が盛り上がり、ぐりとぐらの手や足、しっぽなど体の形がわかります。2匹の違ひは、洋服の模様…ぐりは縦じま、ぐらはドット（点）で確かめられます。触ると小さな点が盛り上がっている部分が点字です。点字は、目の見えない男性が「もっと簡単に本が読みたい」と願ひ発明した、指で触ってよむ文字です。皆さんも、どんな絵本か、手で触って読んでみませんか。



(福音館書店 4290円)

小学3・4年生向け

電子版「とっておきの詩」

むらかみ しいこ 作 いちい 市居みか 絵

いつでもどこでもパソコンやスマートフォン、タブレット端末で本を読めるのが「電子書籍」です。使う人に合わせ、文字の大きさをえたり、音声で読み上げたり、自動でページめくりができるものなどがあります。県立図書館では、利用登録をすると電子書籍を3冊15日間借りることができます。県立図書館の電子書籍から、「とっておきの詩」を紹介しつゝ、つよしは、冬休みの宿題で詩を書きました。ところが、正直な気持ちを書くと、かあちゃんには怒られ、とうちゃんとはあちゃんには笑われます。「『詩』の、ざいりょうが、おちてるかもしれん」とかあちゃんに誘われ、買い物に行きましたが…。



(PHP研究所 999~1000円、紙書籍は1210円)

図書館へ



読書の「壁」なくす工夫を知る

「読書バリアフリー」という言葉を知っていますか？ 重度障害を持つ作家、市川沙央さんが芥川賞受賞会場で訴え話題になりました。読書のバリア（壁）をなくすために、読みやすく工夫されたバリアフリー図書を紹介しつゝ、(山梨県立図書館 小林和美) =毎月第2週に掲載します

小学5・6年生向け

大きな文字の青い鳥文庫「霧のむこうのふしぎな町」

かしわばさちこさく すぎたひろみえ
柏葉幸子作 杉田比呂美絵

視力が弱く文字が読みにくい人向けに、文字サイズを通常の2倍以上に拡大し、ゴシック体など読みやすい書体を使った「大きな文字の本（大活字本）」から、ファンタジーの名作を紹介しつゝ、小学6年生のリナは静岡から1人で、電車で霧の谷に向かいました。お父さんの知り合いの家で夏休みを過ごすつもりです。ところが霧の谷の大きな屋敷に着くと、ピコットばあさんから、ここは下宿屋で「生活費は自分ではたらいてかせいでもらおう」と言われ驚きます。屋敷には意地悪なばあさんのほか、発明家のイッチャンやおいしいご飯を作るコックのジョン、洗濯や掃除をするキヌさん、猫のジェントルマンが暮らしていました。さて、リナは本屋で働き始め…。



(講談社 2200円。読書工房でのみ注文可)

中学生向け

キラリさんの 病気やケガのときは どうするの？

どくしょこうぼうへんちよ
読書工房編著

本を読むのが苦手な人におすすめの「LLブック」(わかりやすい本)から1冊紹介しつゝ、LLブックは難しい言葉や専門用語をできるだけ使わず、やさしい言葉で書かれています。また、写真やイラストをたくさん使い、漢字にふりがな(ルビ)が付いているので、小中学生から大人まで読むことができます。この本は病気やケガの時、どこを受診し、どんな行動をし、何を話せばいいかを説明しています。主人公のキラリさんが自転車で転んだ場面から、整形外科に行って受付をする場面、医師の診療を受ける場面、レントゲン検査を受ける場面、診断結果を聞き取る場面、お金を払う場面、薬を受け取る場面まで、順番に写真と簡単な文章で紹介しています。



(国土社 3520円)